

西ボラ・かわらばん

発行 西区ボランティアセンター
〒733-8535 広島市西区福島町二丁目24番1号 広島市西区社会福祉協議会内
Tel (082) 294-0104 Fax (082) 291-7096
E-mail nishi@shakyohiroshima-city.or.jp
ホームページ <http://www.shakyo-hiroshima.jp/nishi>

予告

★ボランティア入門編～気軽に知りあいたすけあう～

	日時	内容等
1	10月20日(月) 10:00～12:00	楽しくボランティア活動(仮題) 講師 ANT-hiroshima <small>わたなべ ともこ</small> 渡部 朋子 氏
2	10月27日(月) 10:00～12:00	レクリエーション(仮題) 講師 ひろしまレクリエーション協会 <small>やまの せつこ</small> 山野 節子 氏
3	11月10日(月) 10:00～12:00	ボランティアに支えられて(仮題) 福祉体験 西区ボランティアグループ連絡会・西区ボランティアセンター利用者連絡会
4	11月17日(月) 10:00～12:00	ボランティアさん 出番ですよ! ボランティアグループ紹介 交流会 西区ボランティアグループ連絡会・西区社会福祉協議会ほか

人生の転換期、忙しいときは思いもなかった“自分自身の時間”“ゆとりの時間”を発見されておられるのではないのでしょうか。
その時間を使って『気軽に知りあいたすけあう』チャンスにしましょう。
多くの皆様のご参加をお待ちしています。

場所 西区地域福祉センター
定員 30名(定員になり次第締切)
参加費 無料
共催 西区ボランティアグループ連絡会
西区ボランティアセンター利用者連絡会
西区社会福祉協議会

★点字ボランティア入門講座

10月9日(木)～11月27日(木) 10:00～12:00 全8回
場所 西区地域福祉センター
定員 20名
参加費 1,200円(テキスト代)
共催 点字サークル「楽点会」 西区社会福祉協議会

身の回りでよく見かけるようになった「点字」。誰もが住みよい豊かな社会にとって大切なものです。
点字の基礎を学び、点訳ボランティアとして活動してみませんか。

もみじ作業所まつり 【開催時間 15:00～20:30】

8月30日(土) ①10:00～12:00
②14:00～21:00
③10:00～21:00

場所 もみじ作業所
中区吉島西2-1-24
活動内容 午前：会場設営、荷物運びなど
午後：仲間の介助 出店手伝い
出店売り子 駐車場・美化係
募集締切 8月1日(金)
その他 交通費は自己負担をお願いします。
昼をはさんでの活動者には昼食あります。

夢フェスティバル 【開催時間 10:30～14:30】

9月14日(日) 9:00～17:00
※可能な時間でかまいません
場所 夢トピア・第3もみじ
作業所及び西側公園
西区観音新町3-9-9

活動内容 会場設営、出店売り子
片付、駐車場・美化係等
募集締切 8月29日(金)
その他 交通費は自己負担をお願いします。
昼をはさんでの活動者には昼食あります。
※自家用車を利用される方は、申込の際に申出てください。

募集!!

「発達障害者家族の集い」での保育ボランティア

★講演会 8月24日(日) 9:20～12:45
場所 東区総合福祉センター3階(東区東蟹屋町9-34)
募集人数 14名 ※保育経験がある方、発達障害への理解がある方
募集締切 8月19日(火)
★おちゃべり ①9月5日(金) ②9月12日(金) ③9月25日(木)
※いずれも 9:20～12:45
場所 西区地域福祉センター3階(西区福島町2-24-1)
募集人数 8名 ※保育経験がある方、発達障害への理解がある方
募集締切 開催日の10日前まで(定員になり次第締切)
♪活動内容(発達障害のある子ども等の保育・見守り)、と交通費(一律1,000円)は全活動共通

手話サークル「月の輪」 キワニス社会公益賞受賞!!

これまで、地道にコツコツと続けてきた活動に対しての受賞ということでメンバー共々大変喜んでます。今後もこの賞に値する活動を続けていくことの重みも一緒に味わっています。これまで同様、地域の皆さんの信望を得られるよう活動を続けたいと思います。

代表 井口 悦子

広島キワニス社会公益賞

♪趣旨
長年社会公益の奉仕に献身的な苦勞を重ね、世間に認められたり報われることの少ない人材等に対して、その功績をたたえ、広く紹介する。
♪キワニスクラブとは
アメリカで発足。1960年代日本に誕生。90周年を機に子どもたちのための活動を明確な目的とする。

決まりました!!

第28回西区福祉まつり 10月4日(土)

この広報紙のすべての問合せ及び申込
広島市西区社会福祉協議会(安井・原田)
Tel 294-0104 / Fax 291-7096

おりづる光と風まつりに参

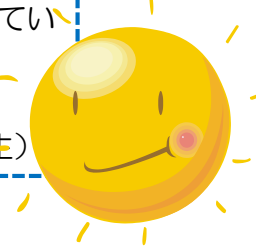
今回初めてボランティア活動に参加しました。けん玉コーナーの担当になりましたが、私自身けん玉ができないこともあって初めは戸惑いもありました。しかし遊びに来ている子供たちの対応をするうちにいつの間にか自分も楽しんでいました。ある子供が一生懸命できるまで頑張っていました。あまりにも必死な様子だったので少しでも気持ちを和らげてあげたいと思ったものの、言う言葉が見つからず、何も言えませんでした。そのことが少し心残りです。

今後活動する中で、いろいろな出会いがあるだろうなと思い、その出会いひとつひとつも楽しみたいと思います。
個人ボランティア 末松 エイ子

僕は、今まで何回か参加していますが今回は特にやりがいを感じました。何故ならもともと人見知りである僕には自分を変えるものになったと思うからです。

僕は竹馬の係りだったのですが、うまく乗れない小さい子は補助をしないと危ないのでとても大変でした。「いちにっ、いちにっ」「右、左、右、左」と足を交互に上手に出せるよう声かけが一番難しかったです。同じ班にいた人なんかは「うまいねー、世界一だよ!!」などと言っていて、僕なんかは絶対にあんな風に気楽に言えないだろうと思っていました。ですが、その人は僕にもいろいろな話をしてくれていていつの間にか打ち解けてきて気が付いたら他の人にも普通に話が出来るようになっていました。

僕はこんな風にいろいろな人との交流が深まれば良いなと思いました。とても楽しかったです。
植村 慎吾 (高校生)



活動中おじゃましてーす



6月22日(日)13:00~16:00、木工製品づくりを楽しもうと男のつどいによる『おもしろ工作塾』が開催されました。男のつどいでは、昨年、大同生命厚生事業団より電動丸鋸や糸鋸盤などの助成を受けました。この日はそれらの工具のデビューも兼ね、また活動の幅をひろげるというねらいもあり、男のつどいのメンバーのほかにも参加を呼びかけました。その甲斐もあり、男性2名、女性3名の参加がありました。「木工作業は中学校以来」との声がある中、違い棚やパズル風ダックスフンド(犬)の置物を作製。違い棚製作では、釘を打つ所にあらかじめキリで穴をあけておく「釘打ちに失敗しないコツ」も紹介され、皆さん真剣な様子で取り組まれていました。

また、糸鋸で切っていくダックスフンドに取り組んでおられた男性は「3度目でやっと家に飾れるものができた」と苦労の中にも努力の賜物を手に頬をほころばせておられました。

ボランティアとしてはちょっと珍しい、男性らしい企画でしたが、参加された皆さんには一つでも持ち帰れるものをとのあたたかい気配りも。最後には、ひょっとしたら普段はあまり手にすることのないのかもしれない雑巾や掃除機も駆使し、いつものチームワークであっという間にかたづけました。
ボランティアコーディネーター



ありがとうございました♡

西ポラかわらばん148号に掲載したハギレ募集(おりづる作業所)について反響があり、ハギレをお渡しすることができました。引き続き募集中です。

これからも掲載希望がありましたらお気軽にご相談ください。

編集委員一同

ひろしま避難者の会「アスチカ」

～話してみっけ 来てみっけ～コミュニティスペース～

『たねまく広場』6月1日(日)OPEN!!



東日本大震災の地震・津波、原発事故により、広島に避難(移住含む)してきた方々の憩いの場になることはもちろん、広島の人との交流の場になることを目的にオープン。

【開催日】 月・火・水・金 10:00~16:00

○食べ物持ち込み自由 ○コーヒーやお茶はセルフで(¥100~)

○キッズスペースあり ○被災地や被災者の資料の自由な閲覧

○物品販売

★お問合せ先 西区三篠町2丁目15-5 TEL082-962-8124

ボランティア研修会「突然の災害に備えて」報告

さる6月23日(月)に開催されたボランティア研修会に参加しました。

西区ボランティアの代表、幹事さんが参集され今後の行事、日程につき議論が行われ西区のボランティア活動の一翼を担って熱心に活動されている事に誠に意を強く感じ入りました。

研修会の一環として、今後想定される大地震、津波等に備えて西消防署予防課長殿から講演頂き真摯に聞き入りました。今後、関係機関より一層の情報発信や具体的な避難行動、訓練等を重ね、いつ遭遇するか判らない被災に備えて覚悟を以って対応せねばならないと改めて気を引き締める思いを抱いた次第です。

更に東日本大震災に遭遇され福島から広島に避難し、「ひろしま避難者の会」を立ち上げ「アスチカ明日へすすむ力」を運営されているスタッフの凄惨な体験談を披露して頂きました。今後想定される災害は今生きている我々の世代か、あるいは次世代か、これだけ科学技術の発達した現代にあっても確実な予測は困難で制御の出来ない大自然の脅威に対して「備えこそ最大の防御」と捉え自治体、地域、各自で確りと防御の準備をしなければならない、と改めて感想を抱きました。

ボランティアグループ「男のつどい」 宥免 忠洋

「ビール教室に参加して」

初めての参加でした。

麒麟ビールの社員さんの心のこもった対応にすばらしいと感じました。

手話でゆっくりと説明していただいて、まったくビールの知識のない私でも、よく分かりました。

初対面の人達とビールをきっかけに親しく話す事が出来て、楽しく過ごせました。

よい体験をさせていただきました。

ありがとうございました。

手話サークル表 会員



麒麟ビールマーケティング(株)による聴覚障害の方を対象とした「ビール教室」が7月5日(土)開催され、今回西区ろうあ協会の方々が参加されました。